

会員各位様

JAFPA 本部事務局

秋に計画を予定していた朝熊山観察山行についてのご連絡です。

ワクチン接種が進めば何とかなると当てにしていた政府の思惑も外れ、新型コロナウイルス変異株による感染拡大はいまだ収まってきていない状況下であり、集団での行動は自粛せざるを得ないと判断し、本部主催での観察山行は見送りますので、ご了解をお願いします。

この観察山行計画の中止連絡は、会員個人の各地での調査・観察や保護活動の自粛を求めるものではありません。3密を避け、人との接触を避けてマスクをし、自然の中を歩くことは健康のためにも必要なことではないでしょうか。

本部事務局が拠点としている三ッ峠での活動は、例会は中止となっていますが、環境省からの委託事業で昨年設置完成した山頂林内の防鹿柵（柵周囲長約 320m）の中の植物調査を、2名の協力を得て行いましたが、お互いできるだけ離れての調査活動でした。

お盆の頃にはレンゲショウマが咲く多様な植生だった林床が、ヤマトリカブトしか目につかない状況になってしまっていました。防鹿柵を設置したことで柵内の植生がどう改善されたかを確認してきました。

登山道や柵の周囲は草刈りしたようになっていますが、柵の中では踏み場もないように植物が茂っていて、45種ほどの植物が確認されました。花の有る所にはチョウも飛んでいました。

多くの種で花の時期は終わりですが、それでも花をつけていたものが25種ありました。

レンゲショウマは花茎の出ない葉だけのものたくさんあり、花茎を出したものは99本数えられました。

今回見落としている種や、同定できなかったものもありますので、来年初夏に再調査したいと考えていて、今回は有志3人で行いましたが、来年コロナ禍が収まっていれば、他の会員にも参加していただきたいと思います。

また、明るい草地に設置した柵の中の植物調査も行いたいと考えていますので、興味のある方は本部事務局までご連絡ください。

今年計画を予定していた三重県朝熊山（あさまやま）のアサマリンドウ観察山行は、名前の由来の自生地の植生を調査・観察しようとしたもので、会としての計画は断念しましたが、会員個人で観察に行かれる機会がありましたら、その結果を本部事務局までご報告ください。

何人かの会員がそれぞれご報告していただければ、観察山行に準じた情報共有ができますのでよろしくをお願いします。

以上、ご連絡いたします。